

2012年度 申7号

年末手当

に関する申し入れ 第1回交渉実施!

勝ち取るぞ!

**職場で奮闘する組合員の声を受け、
組合 要求の根拠・正当性を堂々と主張!**

- ◆ 第2 四半期決算として経常利益は過去最高益! 組合員の血の滲むような努力によって大震災を乗り越え、力強く回復し「増収増益」の好決算である。
- ◆ 通期では、営業収益、営業利益、経常利益、純利益ともに上方修正をしており、過去最高益を出す勢いにある。
- ◆ 世界情勢、日本経済の状況は理解しているが、JR 東日本の場合は、収益の幅は狭く、他の業態とは違う。完全民営化の精神である自主自立経営に基づき、公正な判断をするべきだ。
- ◆ 今年は大きな施策を妥結してきた。経費として効果が現れることを認識するべきだ。
- ◆ 企業の持続的成長は、現場で働く組合員の協力、努力なくしてありえない。気持ちよく仕事ができるように公正な配分を求める。
- ◆ 今回は基準内賃金 3.4ヶ月 + 5万円を要求した。定額で求めたのは、若い人と上位職との格差を是正するため。
- ◆ **下げる理屈を並べるのではなく、率直に支給すべきだ!**

組合員の頑張りをしっかりと受けとめ、満額回答を要請する!!

会社 回答は「先行き不透明・楽観視できない」を繰り返すのみ

- ① 第2 四半期中間決算であるが、震災からの反動であり、前々年も3. 11以降は収入が激減したため、大きく増えてはいない。人件費の増など下期に集中するため、慎重かつ冷静に考えなければならない。
- ② 中国との関係悪化、欧州の経済危機など、世界情勢は悪化している。
- ③ 下期は日本経済の動向、観光面で中国、韓国との関係を考慮すると楽観視できない。
- ④ グループ経営構想Vを全社員で取り組む。社会インフラを扱う企業としての責任、少子高齢化、長期的な電力不足も背景にある。
- ⑤ 年末手当は上半期は受け止めつつも、取り巻く経営環境や世間の目などを考慮する必要がある。

**次回交渉は9日 13:30~
満額回答に向け、交渉していきます!**